耐火性能検証法を採用して設計を行った事例

耐火性能等が求められる部分において木材を現しで使用するためには、燃えしろ設計により部材を設計する、 不燃化木材を使用するなどの手法があるが、これらの手法は部材断面が大きくなる、コスト高となるなどのハ ードルがあり、実例は必ずしも多くない。

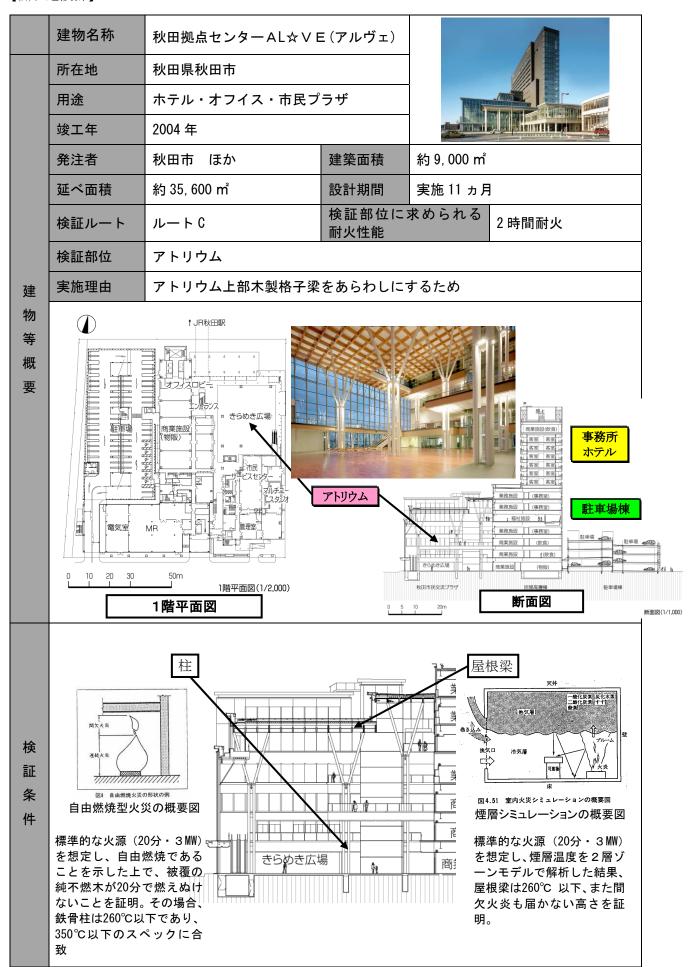
一方、耐火性能検証法を用いて耐火性能等があることを確認できれば、耐火性能等が求められる部材でも木材を現しで使用することができるなど、前述の手法以上に木材の多様な使い方が可能である。

本資料は、耐火性能検証法を採用した事例の紹介を通じて木材の利用が進むことを期待し、次表に耐火性能検証法を採用して設計を行った主な施設を掲げるとともに、一部の施設について、施設概要や検証条件を取りまとめた。

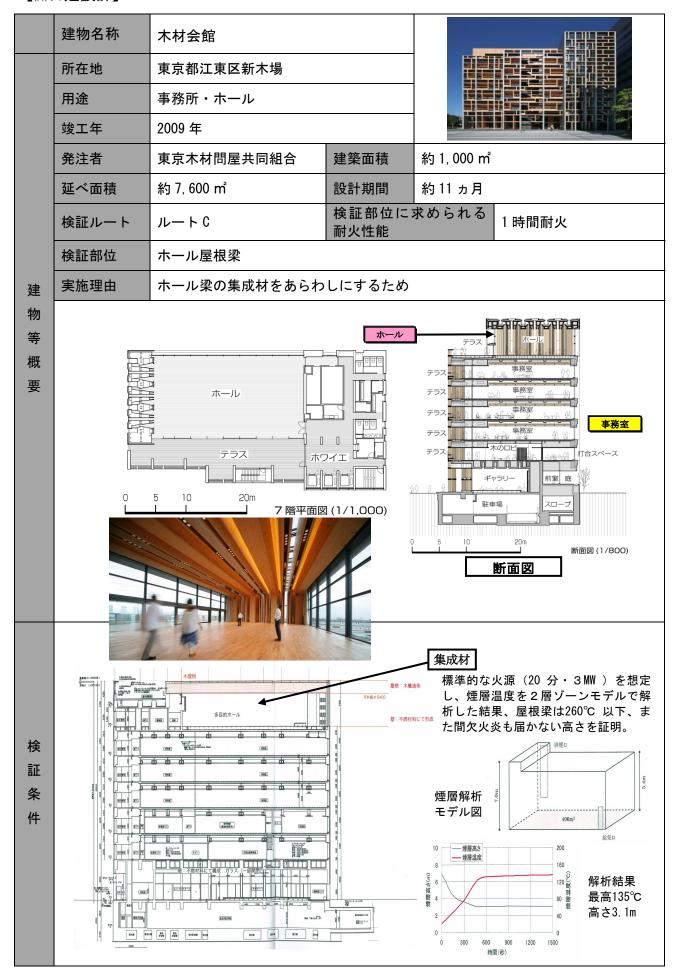
表 耐火性能検証法を採用して設計を行った主な施設

建物名称	設計者	所在地	検証ルート
木の花ドーム	株式会社 大建設計	宮崎県	ルートC
綾てるはドーム	株式会社 大建設計	宮崎県	ルートB
あけのベドーム	有限会社 三竿修一建築研究所	岐阜県	ルートB
ウッドエナジー工場	北川一級建築設計事務所	宮崎県	ルートB
秋田拠点センターAL☆VE	株式会社 日建設計	秋田県	ルートC
木材会館	株式会社 日建設計	東京都	ルートC
所沢市民体育館	株式会社 坂倉建築研究所	埼玉県	ルートC
高知学芸高等学校創立記念体育館	株式会社 上田建築事務所	高知県	ルートC
JR高知駅プラットフォーム上屋	株式会社 内藤廣建築設計事務所	高知県	ルートC
樹海体育館	株式会社 石本建築事務所	秋田県	ルートC

【㈱日建設計】

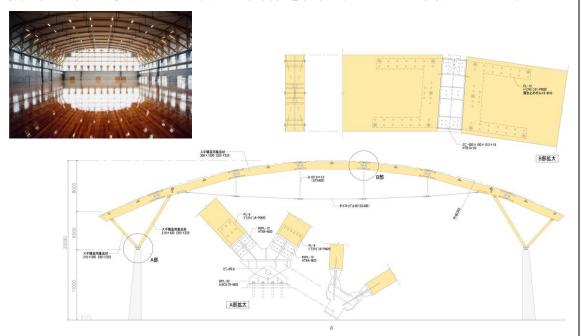


【㈱日建設計】



建物名称	綾てるはドーム				
所在地	宮崎県東諸県郡綾町				
用途	体育館				
竣工年	2004 年				
発注者	綾町	建築面積	7, 209. 00 m ²		
延べ面積	6, 636. 06 m²	設計期間	2003年3月	~2003 年 6 月	
検証ルート	ルートB	検証部位に求められる 耐火性能		1 時間耐火	
検証部位 柱、梁など主要構造部					
実施理由	補助事業であり、木造であることが条件であった為				

・体育館大屋根の張弦梁・つなぎ梁、及び妻側柱を杉集成材による木造躯体としている。



耐火性能検証法の適用 ルートB

方針 木造の梁部に着火しないことを目的とする

検
証
条
件

ノノエー	不坦い来前に有人しないことを目的とする		
Ar	当該室の床面積	m²	4,800.000
fop	有効開口因子	m^(5/2)	10,592.675
Hr	当該室の床面から天井面までの平均高さ	m	22.000
qb	当該室内の可燃物1秒間あたりの発熱量	MW	512.031
ql	当該室の収納可燃物の床面積1㎡あたりの発熱量	MJ/m²	80.000
Qr	当該室内の可燃物の発熱量	МJ	890,880.000
tf	当該室における火災継続時間	分	28.998
Z	当該部材の床面からの高さ	m	7.000
α	火災温度上昇係数	℃/分^(1/6)	134.531
α l	部材近傍火災温度上昇係数	℃/分^(1/6)	0.000
Х	燃焼型支配因子	m^(1/2)	0.994

【㈱大建設計】

	建物名称	宮崎県全天候型運動施設「木	の花ドーム」			
	所在地	宮崎県宮崎市大字熊野 144	Á			
	用途	スポーツ施設				
	竣工年	2004年3月30日				
	発注者	宮崎県建築面積		10, 996. 32 m²		
	延べ面積	11, 463. 19 m ²	設計期間	8ヵ月		
	検証ルート	ルートC	検証部位に 耐火性能	求められる	1 時間耐火	
	検証部位 木造架構 (屋根架構) 膜構造屋根 左記以外の主要構造部			構造部		
建	実施理由	木質構造による耐火構造とするため				
等 概 要	0007 0007 1000 1000 1000 1000	グラウンド Sog 90 空間機械室り 起室 1 Sog 90 空間機械室	会議室2 会議室2 東海室・発療機座 61000	·撒入口 ·撒入口		
検証条件	1400 1400	屋根2	18125° X 16	車椅子席 シレターン用ピット シ	屋根3 庇 000/1 000/1 000/1 000 000 000 000 000 0	